

くばせのつらなり
Shape of Dialogue

KUNST ARZT では、3年ぶり4度目となる林葵衣の個展を開催します。

林葵衣は、口紅の痕跡絵画や口腔内オブジェを通して、言葉を視覚化するアーティストです。

本展では、口内で硬化させたポリエチレン樹脂製オブジェに「時間」を与える試みです。

口腔内オブジェをワイヤーなどでつなぐことで、その発音された言葉と言葉の間の時間、無言の時間など、より実際の発話のタイミングを視覚化することが可能となり、そのワイヤーが複数になることで、対話を再現することも構想しています。

(KUNST ARZT 岡本光博)



Phonation piece-aogimi-
2025
ポリエチレン樹脂

経歴

1988 京都府出身
2011 京都造形芸術大学 情報デザイン学科
映像メディアコース 卒業
2013 京都造形芸術大学 修士課程 修了

主な個展

2025 「しゃがみあおぎみとぶ」 豊中市立市民ギャラリー
2023 「有り体を積む」 A-Lab・兵庫
2022 「息骨に触れる」 KUNST ARZT・京都
2020 「息差しの型取り」+2・大阪
2020 「一振りの音」+2
2020 「遊動軌」 Gallery PARC・京都
2019 「詩の復唱」 KUNST ARZT
2019 「対話の時間」 黄金 4422bld・愛知
2018 「しつらえ」 AWOMB・京都
2017 「声の痕跡」 KUNSTARZT
2016 「水の発音」 アートスペース虹・京都
2014 「Public Score」 つくるビル・京都
2013 「OverLay」 gallery near・京都
2011 「RE」 C.A.P. STUDIO Y3・神戸
2009 「カラダカラニジムコエ」 Gallery はねうさぎ
2008 「メロアケテミルユメ」 Gallery はねうさぎ

主なグループ展

2025 「桜を見る会」 eitoeiko・東京
2024 「白髪一雄の好奇心」 尼崎市総合文化センター
2023 「passage」 +1art・大阪
2023 「星を見つめる人」 GALLERY HEPTAGON・京都
2022 「NEW INTIMACIES」 Gallery PARC・京都
2022 「てんかいするメソッド」 成安造形大学 | 滋賀
2021 「phono/graph」 岡崎蔦屋書店・京都
2021 「文字模似言葉」
ボードレスアートミュージアム NO-MA・滋賀
2021 「画家の痕跡」 高松市美術館・香川
2020 「やわらかい希望」+1art・大阪都
2019 「第六回アラタパンダン展」
クリエイティブセンター大阪 名村造船所跡地・大阪
2019 「京都府新鋭選抜展」 京都文化博物館
2018 「VOCA 展」 上野の森美術館
2018 「第五回アラタパンダン展」 名村造船所跡地
2017 「アート / メディア - 四次元の読書」
国立国際美術館
2017 「非在の庭 最終章」 アートスペース虹

受賞歴

2022 第1回 白髪一雄現代美術賞
2015 「芦屋市展」 芦屋市立美術館 / 吉原賞

2025 年 10 月 3 日 (金) から 12 日 (日)

12:00 から 18:00 月曜日休み

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

問い合わせ



KUNST ARZT代表 岡本光博

090-9697-3786

kunstarzt@gmail.com

くばせのつらなり Shape of Dialogue

展覧会コンセプト

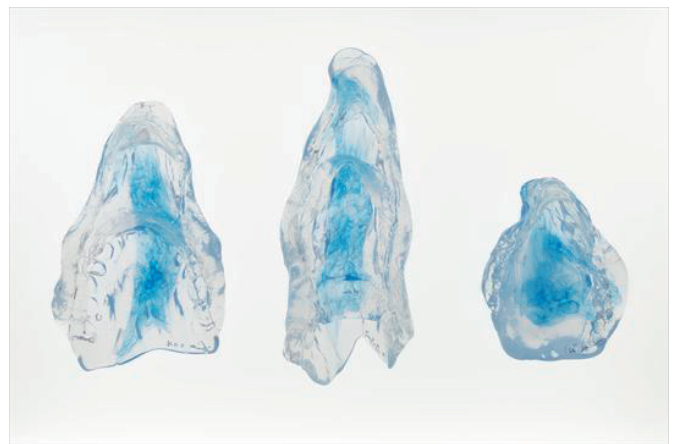
目くばせ、気くばせなどの言葉に使用される「くばせ」とは元来「くわせ」「くはす／食わす」から変化した言葉である。目の前の相手と対話するため体内から言葉を引き出そうとする時、言いよどんだり、つかえたり、途切れたり言い間違えるのは、自分が伝えたい言葉を対話相手が食べやすいよう形を整えるうちに溢れてしまう身体の身振りなのかもしれない。選びきれない言葉、不恰好な声、整わない呼吸が一本の連なりとして口から吐き出された様子を提示する。

アーティスト・ステートメント

身体は心拍の影響、呼吸による喉と唇のふるえ、記憶の歪みなどから自分の意図通り完璧には動かせない。これまで反復によるずれ、色彩の残像、音声の保存をテーマにした作品を制作してきた。自分のものではないようにもどかしく思う見えない身体の内と対話し、目に見える形を与え、提示している。



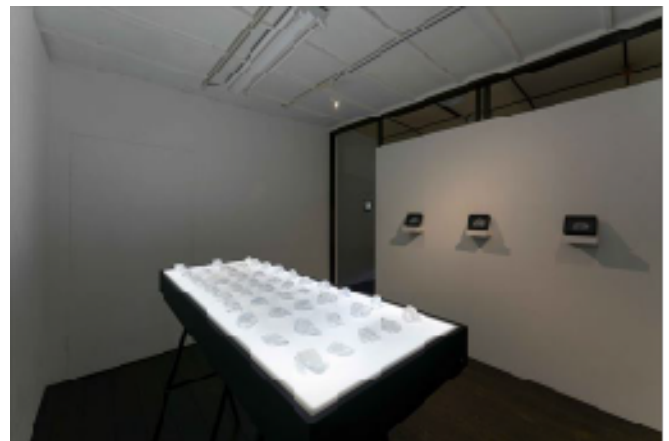
Phonation piece-syllabary-
2022
ポリエチレン樹脂
Photo by Yuki Moriya
ポリエチレン樹脂を口に含み、「あ」から「ん」までの50音を発声した口内の型取り



Phonation pieceシリーズ koe/fureru/a
2022
ポリエチレン樹脂
Photo by Yuki Moriya
ポリエチレン樹脂を口に含み、「こえ」「ふれる」「あ」と発声した口内の型取り



個展「声の痕跡」(2017)より



個展「息骨に触れる」(2022)より
Photo by Yuki Moriya